

わたしたちのまち 宗像

～合併後の成果や主な事業～

合併によって
どのような変化があったのか
検証してみましょう



市長あいさつ



宗像市長
谷井 博美

平成15年4月に旧宗像市と旧玄海町が合併し、さらに平成17年3月の旧大島村との合併により、面積119.66km²、人口約9万5,000人の現在の宗像市が誕生しました。

合併後、旧市町村が持つ地域資源を活かしながら、市民の皆さんと一しょにさまざまなことに取り組み、新たなまちづくりを行ってきました。今回2度目の合併から5年を経過したことを機に、その成果を検証し、ここに公表いたします。

合併後のまちづくりは、推進の途上であり、さらに発展させ、宗像の輝かしい未来を強く切り拓いていかなければなりません。そのために、「元気な市民と元気なまちづくり」を胸に、市民の皆さんと一しょに汗を流しながら取り組んでまいります。

行政の改革は...

人件費や組織の数を減らし、
財政力を強化することが出来ました。



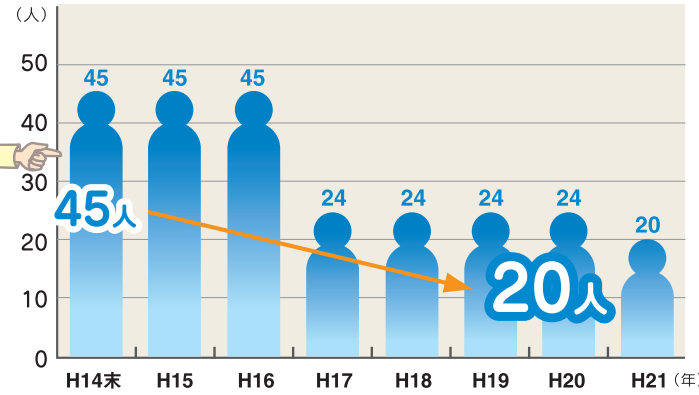
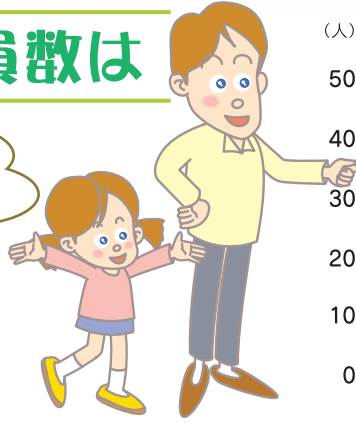
合併したことで新たな取り組みに着手することができました。



合併後の 議員数は

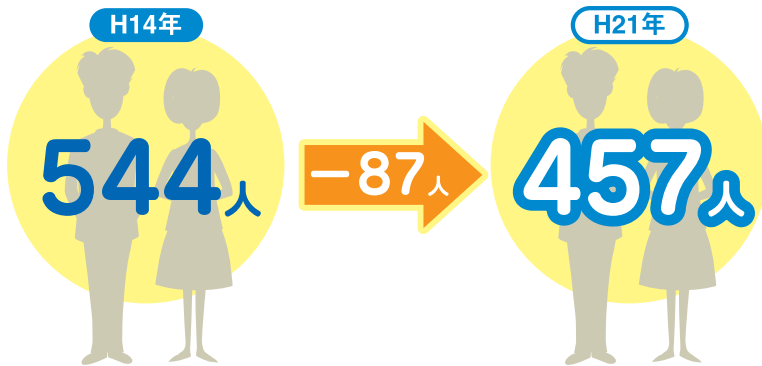
最終的に、半分以下になったんだね。

議員数は平成17年に24人になり、平成21年に20人になりました。合併前と比較して、25人減りました。



合併後の 職員数は

合併により、重複する部署が減り、毎年職員を削減しています。重複する部署に従事していた職員を、福祉等の専門性の高い部署に配置し、きめ細かな対応ができるようにしました。

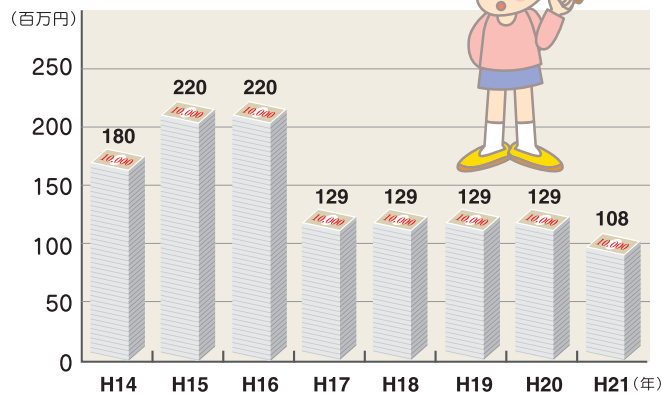


合併後の 人件費は

議員さんの報酬は、合併で一時的に増えたけど、今は合併前より減っているんだね。

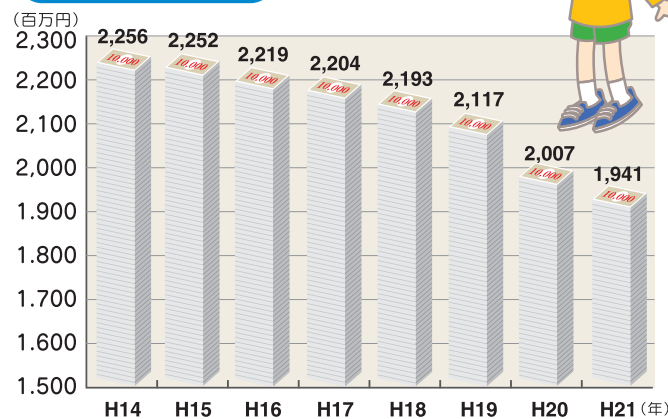
合併後、毎年減っているんだね。

議員報酬の推移



合併の在任特例と報酬額の統一により、一時的に報酬額は合併前より増えましたが、平成17年に定数を削減したことにより、大幅に減りました。

一般職の給料額の推移



職員数の削減によるもののほか、給与構造改革の実施により、給料総額は減っています。

合併後の 行政の組織数は



合併前に65あった組織は59になりました。これは、管理部門(総務、人事、財務など)や議会などの事務局といった旧市町村に重複してあった組織を整理し減らした一方、新たなまちづくりを進めていく上で必要な、いくつかの新しい組織を増やしたことによるものです。

★新設された部署★

地域活性化推進室	定住化推進室
離島の活性化	定住化の推進、企業誘致
発達支援センター	世界遺産登録推進室
発達障がいなどに関する支援	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録の推進

合併後の 国や県からの財政支援は

新たなまちづくりをするために、合併した市町村に対して国や県から財政支援がありました。

次のページは、市民サービスや負担がどうなったのか見てみよう



合併したことで、たくさんのお金の支援があったんだね。

平成21年度までに

国や県からの交付



経費節減により実現した事業例 教育環境の充実

経費節減や国・県からの財政支援によって、子どもたちが安全に安心して学習できるよう教育環境を充実させました。



- 小中学校校舎の耐震化(全校完了)
- 学校給食施設整備事業(全校完了)
- 日の里中学校改築(H22完了)
- 玄海小学校改築(H24完了予定)



日の里中学校の改築

市民サービスの向上

旧市町村で行われていた市民サービスは、合併により提供地域を拡大し、概ねサービスが向上しました。特徴的なもののいくつかをご紹介します。

合併後の ふれあいバスは

合併前

〔宗像地区〕ふれあいバス **3路線** (有料)
〔玄海地区〕玄海号 (無料)

合併後

ふれあいバス **4路線** (有料)
駅や商店まで運行するのでサービスの向上につながっています。

一体的に運行することで、効率的になっただけでなく、便利になりました。

利用者も増えたんだ。

合併後の 入園・保育料は

幼稚園

入園料 **5,000円** → **40,000円**

保育料(月額) **6,500円** → **20,000円**

負担は増加されましたが、給食、送迎バス、延長保育時間の拡充などのサービスが増えました。

民営化により

保育園

保育所がなかった玄海地区の市民も保育所に通わせることができるようになりました。大島地区では、保育料金は上がった一方、保育時間の延長と受入年齢の拡大を行いました。

合併後の 高齢者サービスは

実施していなかったサービスの範囲を拡大して実施。サービスが向上しました。例えば、介護用品給付サービスは、

合併前

宗像市 **10,000円**
玄海町・大島村 **5,000円**

合併後

月額 **10,000円**

他市の事例を参考にし

現在は 月額 **8,000円**

介護用品給付サービスとは、寝たきり高齢者・認知症高齢者に紙おむつの給付をするサービスです。

市民負担の状況

市民の負担は合併前と比べて、増えたものも減ったものもあります。主なものをいくつかご紹介します。

合併後の 市税は

個人市民税	
均等割は	
合併前	旧宗像市 2,500円 旧玄海町 2,000円 旧大島村 2,000円
合併後	2,500円 地方税の改正により 3,000円

法人市民税	
合併前	旧宗像市 14.7% (制限税率) 旧玄海町 12.3% 旧大島村 12.3%
合併後	14.7% 玄海・大島地区は増税

固定資産税	
合併前	旧市町村共 1.4%
合併後	そのまま 1.4% 課税基準を統一しました。

合併後の ごみ処理手数料は

可燃ごみ処理手数料		ごみ袋料金	
合併前	旧宗像市 大 42円 小 31円 旧玄海町 大 120円 小 70円 旧大島村 ひとり 月額 220円	合併後	大 42円 小 31円
		H18年の料金改定により	現在は
			特大 64円 大 42円 小 30円

玄海地区では負担が少なくなり、大島地区ではごみを出す量に応じた負担になりました。

合併後の 上下水道料金は

玄海地区の一般家庭では負担が少なくなった。

上水道料金
旧宗像市の料金体系にあわせて調整をしました。

負担が **減** 一般家庭

負担が **増** 多くの水を使用する家庭や事業所

大島地区は宗像地区より安い料金体系が今も続いています。

下水道料金
旧宗像市の料金体系にあわせて調整しました。

玄海地区は使用量による料金体系に変わったため

負担が **減** 人数の多い世帯

合併後の主な事業



A 大島海洋体験施設



平成23年オープン予定の海洋体験ゾーンは、防波堤や桟橋からの釣り、カヤックなどが体験できます。釣りの基本や魚のさばき方の教室など、いろいろなイベントも行われる予定です。

B 新船建造



老朽化した大島渡船しおかせを新造しました。バリアフリーに対応したほか、速度も旧船より速くなりました。

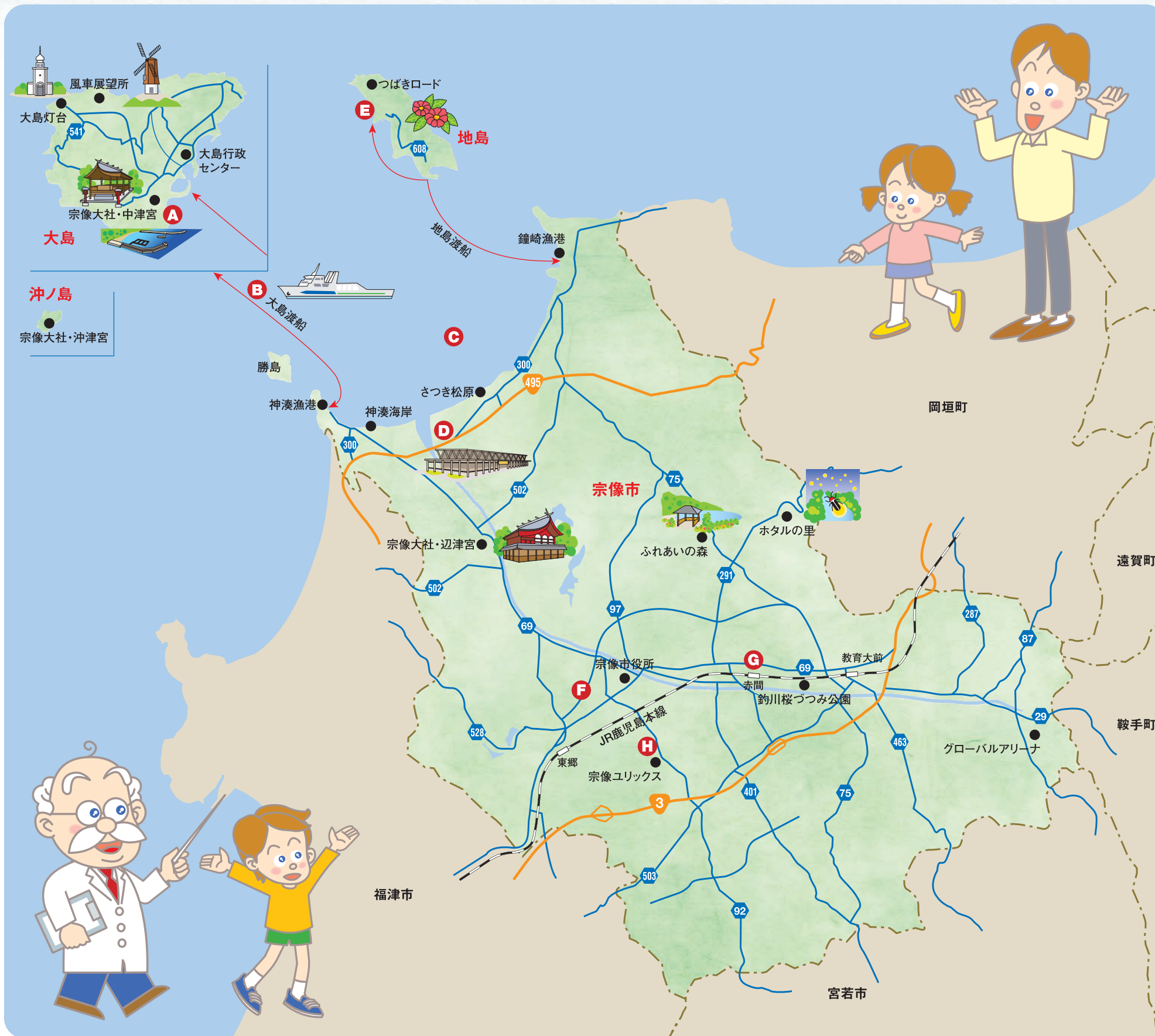
C 漁港整備

鐘崎、神湊、大島、地島の漁港の整備を進めました。また、製氷貯氷施設などの設備の整備も行いました。

D 観光物産館の整備



本市の地域資源の一つである農水産物を広く観光客に販売し、地域発展を目指すために、観光物産館を整備しました。また、ここを拠点に市内を回遊してもらうために、観光情報の発信を積極的に行っています。



E フェリー就航予定

現在、車を航送することができない地島にフェリーを就航する計画です。

F 宗像福間線の整備



旧3号線の渋滞緩和や玄海地区とJR東郷駅を結ぶ道路として整備を行いました。

下水道の整備

合併後、玄海地区で集中的に整備を行い、同地区の普及率は現在66.7%。宗像市全体で97.3%になりました。

県道の整備

赤間駅北口の拡幅、東郷光岡線のJR線との立体交差、国道495号のさつき橋の架け替えなどが行われました。

G 赤間駅の周辺整備

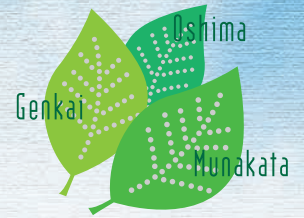


新市の玄関口として整備を進めました。駅や駅前広場の整備、公園や区画整理によるまちの再編が進んでいます。

H 市民活動交流館の整備

生涯学習・子育て・青少年育成のための施設としてオープン。市民活動団体の打ち合わせスペースや、情報交換の場など、市民活動の拠点として活用されています。

合併後の主な事業



人づくり推進事業

市民の主体的なまちづくりを行うために、メイトム宗像をリニューアルし市民活動交流館として再整備したほか、いわゆる市民参画条例を制定するなど、“人”づくりのための拠点や制度といった基盤を構築しました。

具体的な事業

- 「人づくりでまちづくり基金」を創設し、市民活動を支援する新たな補助制度の開始
- 市内三大学と連携し、まちづくりを担う人材を育成するための「むなかた協働大学」の開校

コミュニティ推進事業

コミュニティ・センター整備を進めるとともに、各コミュニティへの財源の移譲を行い、地域が主体的なまちづくりを行うための基盤を整備しました。また、河東地区、池野地区、岬地区、神湊・田島地区のコミュニティ地区の範囲を決定し、拠点整備とともに組織の強化を図っています。

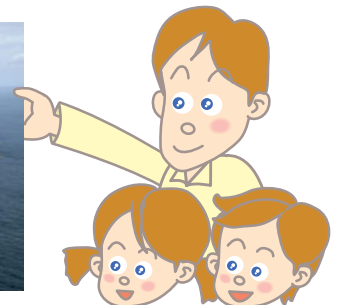


具体的な事業

- 地域が主体的に事業を進められるようにするための「まちづくり交付金」制度の導入
- 東郷、赤間、大島地区のコミュニティ・センター整備

世界遺産登録活動

合併後、本格化した世界遺産登録活動によって、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。平成18年度から募集を開始した世界遺産登録支援サポーターは現在では300人を超えており、世界遺産登録を盛り上げる活動を行っています。



あとがき

市では合併後、さまざまな事業を行ってまいりました。しかし、その間三位一体の改革や世界経済の落ち込み等による財政難が、合併後の地方自治体を飲み込みました。そういった状況から、市民の皆さんの中には、合併したことで悪くなったと感じている方も多いのではないのでしょうか。そこで、合併したからこそできたことを、このパンフレットにまとめました。

しかしながら、このパンフレットの内容はあくまで行政側からの視点で作られたものであり、実際の市民の皆さんの生活にどういった影響があったのかを把握できるものではありません。そのため、市では平成22年12月上旬から市民の皆さんの中から無作為に選んだ18歳以上の男女3000人を対象にアンケートを実施します。アンケート結果は、今後のより良いまちづくりのための参考とさせていただきます。もしアンケートが自宅に届いた場合は、積極的に回答いただきますようお願いいたします。

なおこのパンフレットの内容は、合併後に行ったことの一部です。詳細をお知りになりたい方は下記までご連絡ください。

宗像市役所 経営企画部経営企画課

TEL 0940-36-1192 FAX 0940-37-1242

E-mail kikaku@city.munakata.fukuoka.jp